

# Venture Club

1994

8

企業家向けネットワーク情報誌  
東洋経済ベンチャークラブ

【総特集】規制・系列なんのその  
「掟」破りで商機をつかめ!





# BUNBUN

## ボーダレス中小企業の実験

### 英国と日本で同時スタート

# 個人の信頼をベースに新規市場を開拓

## 東西コンサルティング

イタリア国籍の母と、ポーランド出身で英国国籍の父をもつアンドリュー・マンキウィック氏は1969年生まれ、二歳のロンドンで生を受け、二歳のときから三年間ローマで生活した彼は、現在では両親の母国語である英語、イタリア語のほかフランス語、スペイン語、

米国製カラーコンタクトレンズの輸入販売に従事し、日本の商社活動のノウハウを身につけた。昨年4月からは、イタリア貿易振興会東京事務所のトレッド・アナリストアシスタントとして精力的な活動を続けている。そして、彼が次に選択した道は、起業家として自分の経験と



### この会社のデータ

- 東西コンサルティング(UK)リミテッド  
11 Victoria Av. Sanderstead, Surrey CR2 0QP UK  
☎44・81・668・5643 ☎44・81・668・5385
- (有)東西コンサルティングジャパン  
〒277 千葉県柏市東中新宿2-1-11  
☎0471・76・2320 ☎0471・75・4838

そして日本語を流暢に操る。ロンドン大学卒業後、独学で日本語を学び、JET (Japan Exchange Teaching) のメンバーとして三〇〇人の中から選ばれた同氏は、91年7月に来日。一年間、千葉県公立高校で英語の教鞭を取った後、キヤノン販売の営業スタッフとして

才能を生かすことであった。「自分が生まれ育った英国と、愛すべき国日本、そして他の多くの国々との懸け橋として自分の可能性を求めたい。その思いを託して、まずロンドンで、東西コンサルティング(UK)リミテッドをスタートさせた」(同氏)。

今年5月に登記を終えた同

社。実は全く同時に、千葉県柏市に同じく「東西コンサルティング」を名乗る会社がスタートしている。(有)東西コンサルティングジャパンというこの会社の代表は、中野洋子氏という女性起業家で、両社の間には資本関係は存在しない。

### 信頼こそ原則

実は中野氏の長男が五年前に英国留学をしていた間に、彼に英語を教えたのがマンキウィック氏だった。中野氏はさまざまな国に合計五〇回以上の渡航歴をもつ大の海外通である。一五年間のOL生活の後に(有)ハロツズという会社を75年に設立。競走馬がトレーニングやレース後に腫らした脚の熱を取り、また脚を保護するために巻くクルキヤスト・バンテージという特種包帯を日本で最初に製造販売した専門企業である。

国境を越えた感性と価値観をもったこの二人は意気投合し、同じ会社名を名乗り、同じ理念で助け合いながらも法的な関係はもたないというユニークな形態を誕生させた。

マンキウィック氏はロンドンに戻り、仕事の傍ら、今年秋から四年間かけて弁護士資格を取得するという。「二五歳の自

分が日本人に信頼してもらう手段の一つとして弁護士の資格が有益だというのが理由の一つ。もう一つは、クライアントに対して、パテントや商法上の有形無形のルールを正しく説明し、運用してもらうため」。

日英同時スタートした東西コンサルティングがまず手掛けているのが、世界で有数のハーブ会社、英国EWキング社のハーブを日本市場に導入すること。八〇%以上という驚異的なハーブの発芽率を達成したノウハウをもつ同社も、日本市場開拓に關しては東西コンサルティングに頼っている。これ以外にもブリストル大学が企画している日本人のための「競馬学・特別講座」の実現など、ユニークなテーマを幾つも抱えている。

将来の夢を語る二人の息はピッタリと合っている。「私たちがやっていることは商社活動ではなく、ボーダレスの意識をベースに、さまざまな国の素晴らしい製品や文化を、互いの国で育てるための駐在事務所活動です。この活動を支えるのは結局は互いの信頼だけ。これから東西コンサルティングを名乗る企業が世界各国に現れます」。

高田容治・IBC専務理事 (NABA代表取締役専務)